

見てみよう 令和 3 年度 各務原市の 決算状況

令和 3 年度
「見てみよう 各務原市の決算状況」
各務原市役所 財政課
〒504-8555 各務原市那加桜町 1-69
TEL | 058-383-1132
FAX | 058-383-6365
E-mail | zaisei1@city.kakamigahara.gifu.jp

はじめに

各務原市では、市民の皆さんに、市政運営に関する情報をより広く知っていただきたいと考えています。

決算については、決算書や決算認定資料を作成し公開していますが、これらは数字や文章だけで書かれており、慣れていない方にとっては少し読みにくいものとなっています。そこで、多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいという思いから、本冊子を作成しています。

市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。

この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

また、令和3年度に実施した事業について、SDGsの17種類のうち該当する主なゴール（目標）を示しました。



SDGsは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略で、平成28年から令和12年までの国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）と169のターゲットから構成され、すべての国において「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、広範で統合的な取り組みです。

市では、「総合計画（後期基本計画）」や「総合戦略」の中で、SDGsを取組の前提事項に位置付けています。

（注1）本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。

（注2）本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。

1

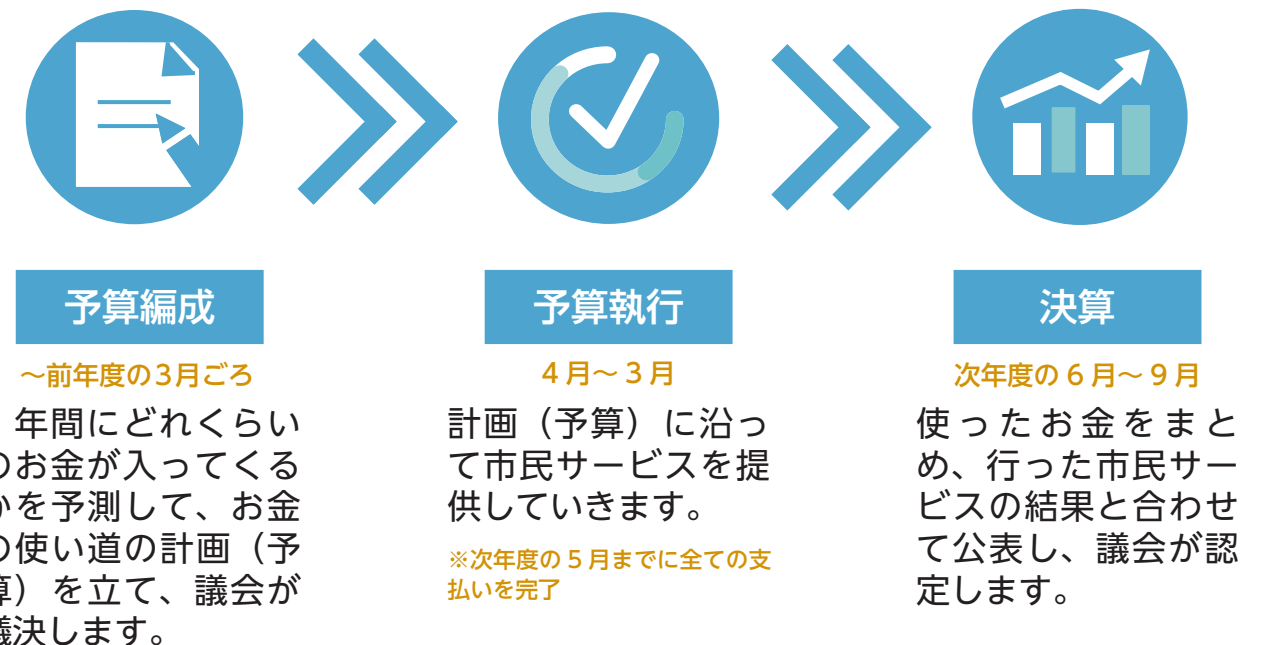
決算ってなに？

市はあらかじめ、どんなお金が入り、どんなことにいくら使うかという計画を立てています。これを「予算」といいます。

この計画に対し、実際どれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものを「決算」といいます。

計画どおりにきちんと使われたのか市民の代表者が集まる議会などでしっかり確認しています。

■予算から決算までの流れ



メモ

1年間の計画を立ててお金を使っていますが、台風など自然災害の発生や経済情勢の変化など、予測できなかった事態に対応するため、途中で計画を変更することがあります。この場合、必要なお金を追加したり、不要となったお金を減らしたりします。令和3年度は、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より多く計画を変更しました。

2

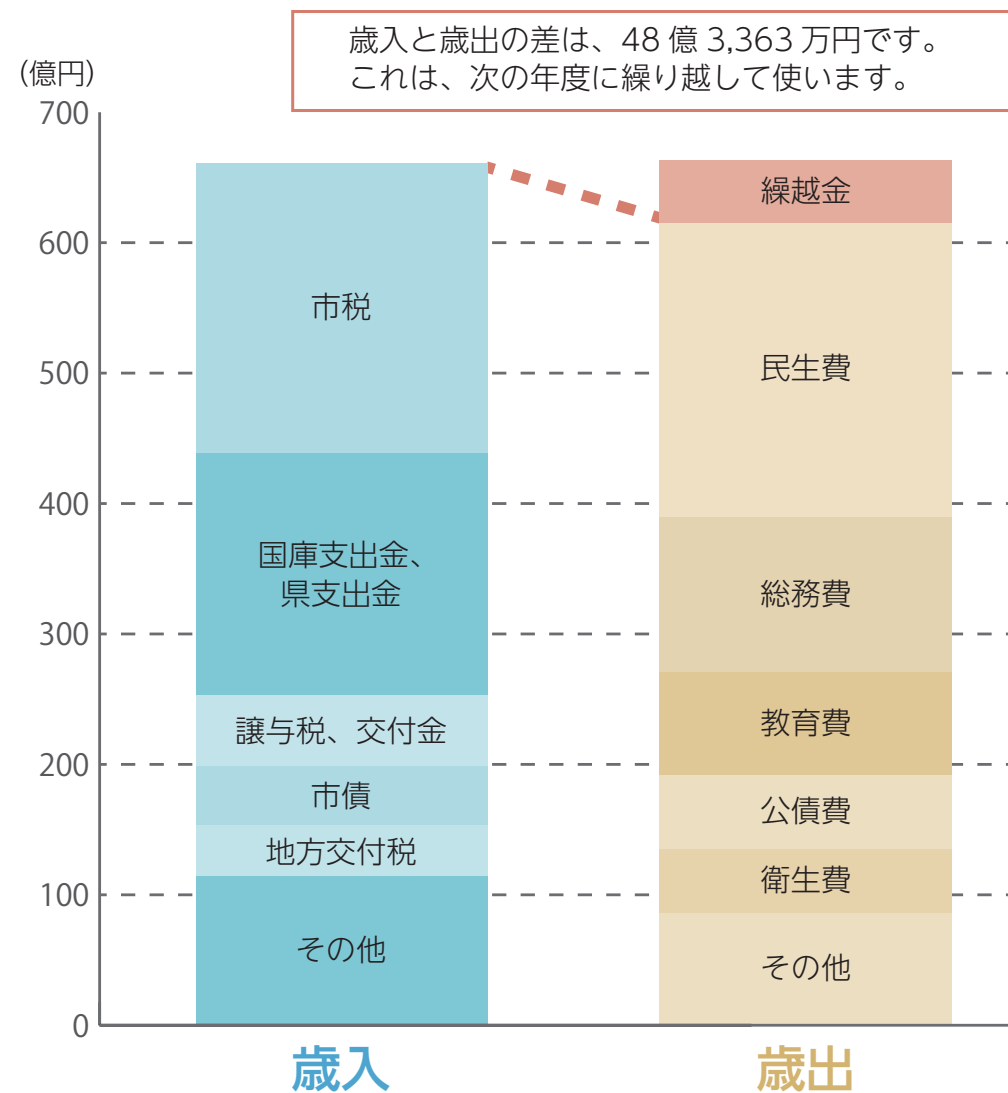
どれくらいのお金を扱っているの？

令和3年度の決算では、

入ったお金（歳入）は、662億2,407万円

使ったお金（歳出）は、613億9,044万円です。

余ったお金の48億3,363万円は、次の年度に使っていきます（「繰越金」といいます）。



メモ

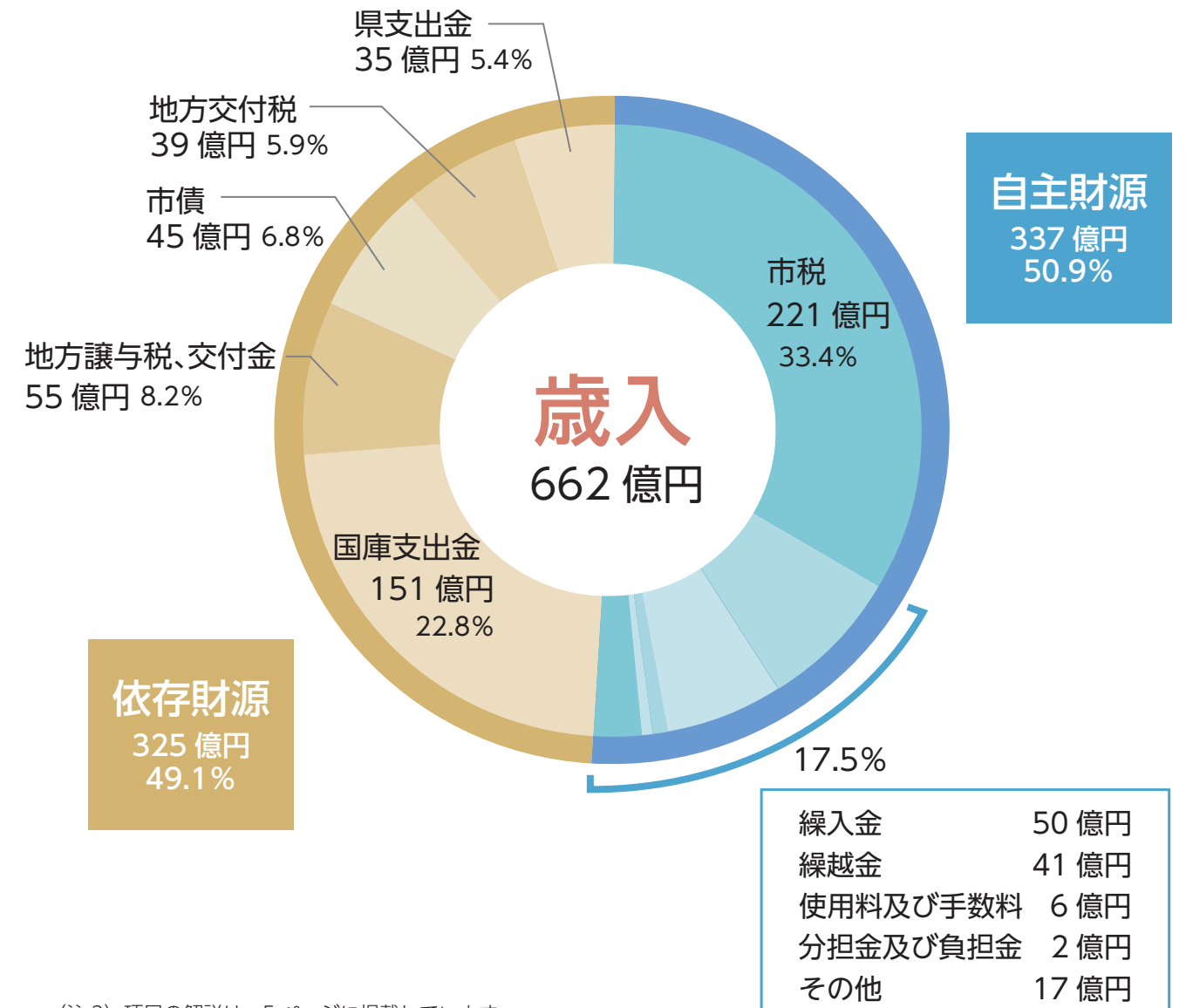
繰越金は次の年度の市民サービスに活用していきます。歳入・歳出の額は年度によって増減しますが、令和3年度は主に新型コロナウイルス感染症や新庁舎建設事業の影響を受け、感染拡大前の5年間（平成27年度から令和元年度）の平均と比較して、歳入は150億円ほど、歳出は130億円ほど増加しています。

3

どんなお金が入ってきたの？

令和3年度に各務原市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市内に住んでいる人が納める個人市民税、市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税といった税金のほか、国や県から入ってくるお金、施設の利用料、銀行などからの借入金、貯金を取り崩したお金などがあります。



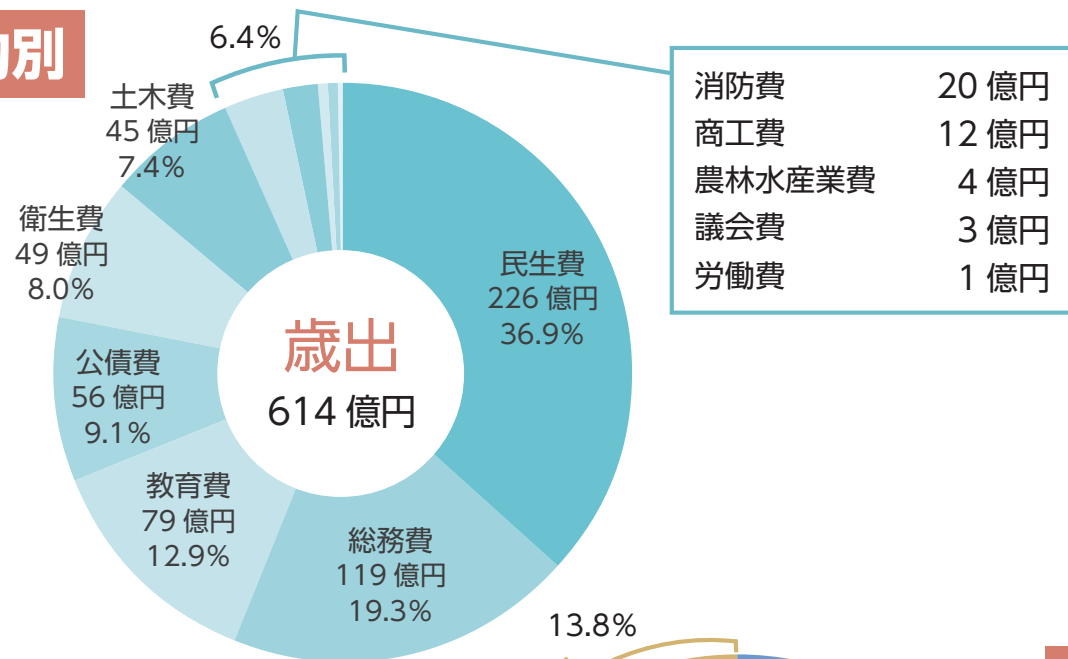
(注3) 項目の解説は、5ページに掲載しています

メモ

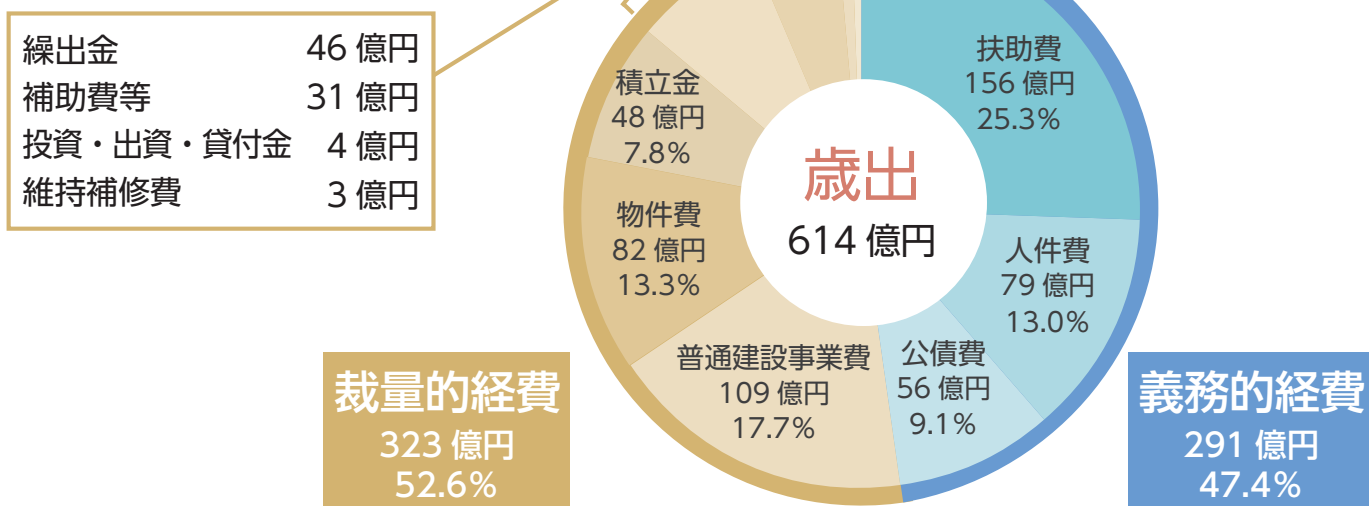
市が自主的に集められる「自主財源」は全体の約5割、それ以外の「依存財源」は、国・県から入ってくるお金や銀行などから借りたお金です。「自主財源」の大部分は市民の皆さんに納めていただいた税金で、市の重要な財源となっています。

令和3年度に各務原市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。
「何のために使ったのか」という観点で分類したものが目的別、「どんなことに使ったのか」という観点で分類したものが性質別という分け方です。

目的別



性質別



メモ

「目的別」では民生費が36.9%、総務費が19.3%、「性質別」では扶助費が25.3%、普通建設事業費が17.7%の順となっており、福祉の關係に多くのお金を使っていることが分かります。また、新庁舎建設事業の影響で普通建設事業費が例年より増えています。「性質別」の扶助費と人件費と公債費の3つの経費の合計を「義務的経費」といいます。政策判断によって内容の見直しができる「裁量的経費」と違い「義務的経費」は支出することが制度上義務付けられているため、削減が難しい経費です。

歳入の分類

項目	説明
自主財源	市が自主的に集めるお金
市税	市民の皆さんから市に納めていただいた税金
分担金及び負担金	事業の経費の一部を、受益者の方に負担していただくもの
使用料及び手数料	市の施設を利用したときや、証明書を発行したときなどにいただくもの
繰入金	貯金（基金）の一部を取り崩したもの
その他	寄附金や不動産売払いなどの財産収入、前年度からの繰越金など
依存財源	国や県から交付されるお金や市債
譲与税・交付金・交付税	皆さんが国に納めた税金の一部。使い道は自由
国・県支出金	皆さんが国や県に納めた税金の一部。使い道は決められている
市債	銀行などからの借入れ

歳出の分類

目的別 ～何のために～

項目	説明
議会費	議員報酬や議会の運営にかかる経費
総務費	庁舎管理、市税の賦課徴収、戸籍の管理、選挙などにかかる経費
民生費	社会保障や福祉施設の管理・運営などにかかる経費
衛生費	予防接種や健診などの医療、ごみやし尿の収集処理などにかかる経費
労働費	労働者の就労支援などにかかる経費
農林水産業費	農業の振興や山林の管理などにかかる経費
商工費	商工業の振興や公共交通の拡充、観光の推進などにかかる経費
土木費	道路、公園などの整備や維持管理にかかる経費
消防費	消防や救急、防災などにかかる経費
教育費	教育環境の整備や社会教育などにかかる経費
公債費	借入金の返済金

性質別 ～どんなことに～

項目	説明
義務的経費	制度的に義務付けられた経費
人件費	職員の給与や議員報酬にかかる経費
扶助費	子どもや高齢者、障がい者などを支援するための経費
公債費	借入金の返済金
裁量的経費	政策により柔軟に増減できる経費
物件費	消耗品や印刷代、光熱水費などの経費
維持補修費	道路や施設などの修理にかかる経費
補助費等	謝礼や助成金、負担金などのほか下水道会計に支払う経費
積立金	財政運営を計画的に行うための貯金
投資・出資・貸付金	中小企業の経営安定化を目的とした貸付金など
繰出金	国保、介護、後期高齢特別会計に支払う経費
普通建設事業費	道路や施設の工事などにかかる経費

令和3年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。

総務費

新庁舎建設事業【やさしさ】

50億121万円

市民サービスや災害対策の拠点となり、ユニバーサルデザインや環境にも配慮した新庁舎の高層棟が完成しました。



AIチャットボット総合案内サービス事業【活力】

122万円

市の手続きや制度についての問い合わせに、24時間365日対応できるようAIチャットボットを導入しました。

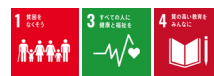


民生費

ひとり親家庭等高校生通学支援事業【やさしさ】

316万円

ひとり親家庭等の経済的な負担の軽減や子どもの将来の自立に向けた支援のため、高校生がいる児童扶養手当受給世帯を対象に、公共交通機関を利用した通学にかかる交通費の一部を助成しました。



地域型保育事業所整備事業【やさしさ】

1億7,544万円

安心して子どもを生み、育てることができる環境の向上を図るために、鵜沼地区に開設する地域型保育事業所の整備について、運営法人に対し補助しました。

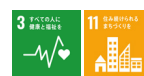
〈地域型保育事業の概要動画はこちら〉



見守りシール配布事業【やさしさ】

75万円

認知症者や障がいのある方が一人歩きで行方不明となった際に家族の方などへ発見通知メールを送信する、二次元バーコードが印刷された衣服等に貼るためのシールを配布しました。



衛生費

妊婦健康診査等事業【やさしさ】

1億3,434万円

産後初期段階における母子に対する支援を強化するため、産婦健康診査に新たに産後うつ予防のための健診項目を追加しました。また、安心して妊娠期間を過ごせるよう、妊婦健康診査やマタニティ広場を実施しました。



新型コロナウイルスワクチン接種事業【やさしさ】

12億4,591万円

予防接種法に基づく臨時接種として、新型コロナウイルスワクチンの接種（1・2・3回目）を実施し、感染症のまん延防止に努めました。

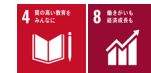


労働費

地育地就事業【活力】

25万円

高校生や大学生を対象に、地元企業への就職を促すため、企業の採用担当者とマッチングする合同企業説明会や、企業を訪問するバスツアーを開催しました。



生涯現役促進地域連携事業【活力】

2,000万円

市内企業の人手不足の改善と、高齢者が年齢に関わりなく活躍し続けられる生涯現役社会の実現を目指し、人材バンクの運営、企業訪問・見学会などを開催しました。



農林水産業費

各務原にんじん啓発事業【活力】

61万円

市の特産品である「各務原にんじん」をPRするため、にんじんレシピ本を市民の皆さんに配布するとともに、イベント用の法被やのぼりを作成しました。



森林環境整備事業【活力】

1,334万円

森林環境譲与税を活用し、森林や老朽化した林道・遊歩道の整備を実施しました。



（注4）【誇り】【活力】【やさしさ】は、本市のまちづくりにおいて大切にしている3つの基本理念を示しています。

キャッシュレスポイント還元キャンペーン事業【活力】 3,715 万円

売上が減少した中小事業者の支援とキャッシュレス決済の普及促進を図るため、対象店舗でキャッシュレス決済サービスを利用すると最大 20% のポイントを還元するキャンペーンを実施しました。



オンライン寺子屋事業【誇り】 179 万円

市内全ての小・中学生に配布したタブレット端末を活用し、自宅や学校からもオンライン上で工場見学をすることができる動画を制作・公開しました。



中小企業ブランディング事業【活力】 72 万円

市内中小企業が新商品などの売上拡大を目指すため、自社の強みの分析や営業戦略の構築などのブランディングに関するセミナーや小規模勉強会・個社指導を実施しました。



かかみがはらおさんぽマルシェ事業【活力】 481 万円

市内観光施設への誘客や出展者・イベント事業者の支援のため、おさんぽ感覚で気軽に楽しめるマルシェイベントを岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の屋外スペースや桜まつり期間中の市民公園で開催しました。



防護柵設置事業【やさしさ】 2,771 万円

通学路や横断歩道の待機場への車両の進入を防止し、重大事故を未然に防ぐため、防護柵を設置しました。



市道蘇北 390 号線ほか 2 道路改良事業【活力】 1 億 2,440 万円

災害時などにおける避難経路としての機能を確保し、歩行者の安全を確保するため、片側歩道の 2 車線道路へ拡幅整備しました。



消防団員確保・処遇改善事業【やさしさ】 3,648 万円

消防団活動の対価として団員報酬や費用弁償を支給しました。災害出動に対する支給額を従前の 1 回 2,500 円から 7,000 円に増額し、消防団員の処遇改善を図りました。



防災システム導入事業【やさしさ】 2,495 万円

新庁舎建設に伴い、災害時の情報収集・集約を円滑に行うことができる防災システムを導入しました。



消防・救急車両更新事業【やさしさ】 9,145 万円

現場到着後すぐに消火活動ができる水槽付消防ポンプ自動車や、高度な救命機材を搭載する高規格救急自動車を年次計画に基づき更新しました。



ICT 支援員配置事業【誇り】 4,807 万円

市内全ての小・中学生に配布した学習用タブレット端末とネットワーク環境の活用を支援するため、各学校へ ICT 支援員を配置しました。



中央図書館改修等整備事業【誇り】 2 億 1,041 万円

中央図書館の利用環境向上のため、空調設備の更新工事を実施しました。また、増加する教育相談などに対応するため教育センターの相談室を増やすとともに、3・4 階トイレをバリアフリー化し、より多くの方にとって使いやすい施設へと改修しました。



文化会館管理事業【誇り】 5,432 万円

指定管理者制度を活用し、市民会館や文化ホールを適切に管理しました。感染症対策を十分に実施した上で、積極的に公演等を開催し、市民の文化芸術活動の促進や地域文化の振興を図りました。



6₁

貯金や借金はどれくらいあるの？

市では、貯金のことを「基金」、借金のことを「市債（借入金）」と呼んで管理しています。

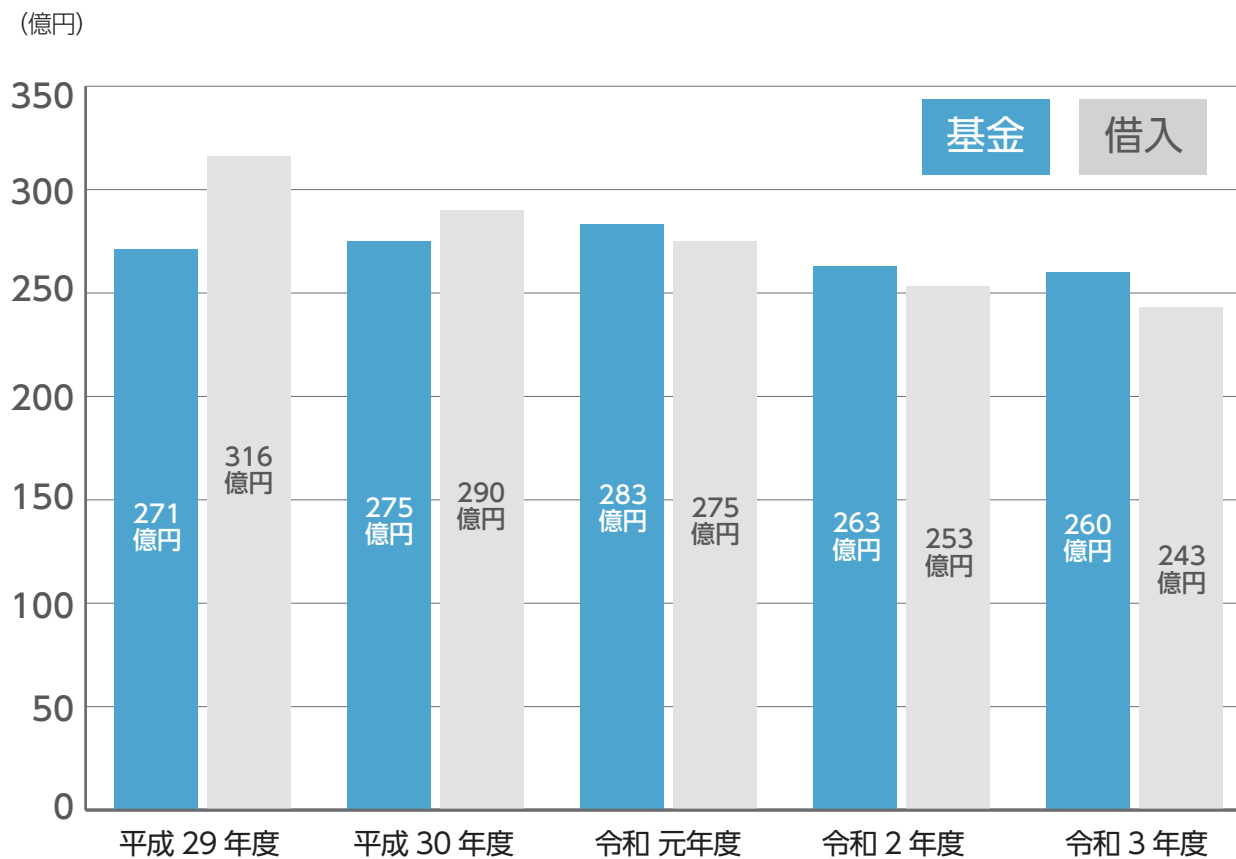
令和3年度末の基金残高は、**259 億 7,974 万円** です。

令和2年度末と比べ **2 億 8,731 万円 減少** しました。

また、令和3年度末の借入残高は、**243 億 1,745 万円** です。

令和2年度末と比べ **10 億 828 万円 減少** しました。

基金残高・借入残高の推移



メモ

基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借入金の返済に使うもの、庁舎の整備に使うものなど、それぞれの目的ごとに分類し、管理しています。借入金にも種類がありますが、市では将来の財政負担を軽くするために、その返済に国の支援がある有利なものに限りお金を借りています。とはいえ、借金は借金ですから、計画的に借入・返済をすることが大切です。

6₂

貯金があるのになんで借金をするの？

市の貯金（基金）は目的ごとに分類して管理していますので、例えば学校を建てるという目的のために積み立てた貯金は、当然学校を建てるために使います。計画的に積み立てて、少しでも将来の世代の人たちに負担を残さないようにすることは大切です。

しかし、今の世代の人たちが納めた税金と積み立てた貯金だけで、これから何十年も使っていく学校の費用をすべて支払ってしまうことは、今の世代の人たちからすると不公平だと感じるでしょう。

そこで、費用の一部を借金して分割払いにすることで、将来の世代の人たちにも公平に負担をしてもらいます。

市民負担のイメージ



建設時の市民だけでは大きな負担…



長い間かけて使うことができるものは、長い間かけてみんなで負担！

メモ

市の借入金は、基本的に建物や道路などを整備するためのものです。毎月の生活費のために借りるのではなく、住宅ローンのように何年も使っていくような大きな買い物のお金を借りています。

令和3年度中にいただいた「ふるさと納税」4億1,917万円を活用した事業のうち、一部を紹介します。

応援メニュー	寄附金額	応援メニュー	寄附金額
1 教育・文化・スポーツに関すること	4,786万円	6 子ども福祉に関すること	7,625万円
2 環境に関すること	3,466万円	7 防災・防犯に関すること	717万円
3 保健・医療に関すること	3,328万円	8 基盤整備に関すること	360万円
4 高齢者福祉に関すること	1,365万円	9 産業振興に関すること	1,371万円
5 障がい児者福祉に関すること	2,043万円	10 各務原市まると応援	1億6,856万円

1 学校施設防犯カメラ設置事業

事業費 1,947万円

子どもたちの安全を守り、安心して学べる教育環境を整備するため、全ての小・中学校と特別支援学校に防犯カメラを設置しました。



2 一般廃棄物収集運搬事業

事業費 4億2,514万円

家庭ごみ（可燃ごみと不燃ごみ）の収集運搬を行い、適正なごみ処理に努めました。



3 乳幼児健康診査等事業

事業費 2,228万円

乳幼児に対し、各種健診、歯科教室などを実施し、身体発育や精神発達の確認、異常の早期発見に努め、健康の保持と増進を図りました。



4 成年後見利用支援事業

事業費 1,674万円

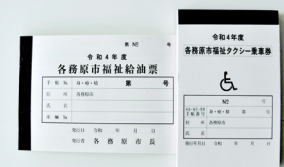
認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分なため、日常生活が困難な状況にある方へ成年後見制度の利用や活用のための支援を行いました。



5 タクシー・ガソリン券給付事業

事業費 3,903万円

歩行困難などにより日常生活に著しい制限を受ける在宅の重度障がい者の方に対し、社会活動の範囲を広げるため、タクシー料金や自動車燃料費の一部を助成しました。



6 公立保育所維持補修事業

事業費 421万円

市内の公立保育所5園について、建物や遊具などの経常的な施設修繕を実施し、保育施設の安全管理に努めました。



7 ドローン導入事業

事業費 58万円

大規模火災や水難事故などの災害発生時に、上空から被害状況をいち早く把握し、情報収集、被害の拡大防止、人命救助などに役立て、災害発生初期から迅速に部隊を運用できるようドローンを導入しました。



8 各務野自然遺産の森自然体験塾棟茅葺屋根差茅事業

事業費 2,262万円

公園と建物の安心安全な利用のため、各務野自然遺産の森体験塾棟の茅葺屋根の維持補修工事（差茅）を実施しました。



9 ふれあいバス・ふれあいタクシー等運行事業

事業費 1億7,016万円

市民の皆さんの移動手段の確保を図り、通勤や通学、買い物などの利便性向上に寄与するため、ふれあいバスやふれあいタクシー、チョイソコかかみがはらを運行しました。



10 広報紙発行事業

事業費 1,237万円

市民の皆さんに、市政情報や活躍する市民・市内で活動する団体などを周知するとともに、市の制度の利用や行事・イベントなどへの参加を促し、市への誇り・愛着を醸成するための広報紙を毎月2回発行しました。

